

地域社会学会会報

No.246 2025.7.11

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 横浜国立大学都市科学部
齊藤麻人研究室内

TEL 045-339-3291(直) FAX 045-339-3291 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

◆…………… 〈 会報 246 号のトピック 〉 ……………◆

- 1) 『地域社会学会年報』第38集の自由投稿論文を募集します。詳細は5ページをご覧ください。
- 2) 2025年度地域社会学会賞の推薦が始まります。詳細は5ページをご覧ください。
- 3) 2025年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

目 次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 地域社会学会賞選考委員会からの報告
5. 50周年事業委員会からの報告
6. 地域社会学会第50回大会会計報告
7. 地域社会学会2024年度決算報告ならびに2025年度予算
8. 事務局からの報告
9. 会員異動
10. 会員の研究成果情報
11. 理事会のご案内

2025年度第1回研究例会のご案内

日時 2025年7月19日(土) 13:30~17:00

会場 名古屋大学東山キャンパス文系総合館308/309教室

(対面とZOOMによるハイフレックス形式)

※アクセス方法等は、開催2日前をめぐに、会員メーリングリストで配信します。

第1報告：「環境変動適応と地域社会—第50回大会シンポジウムの成果と課題—」(仮題)

報告者 室井研二(名古屋大学)、望月美希(静岡大学)、阪口毅(立教大学)

第2報告：「地域と産業：炭鉱研究の窓から見る移動社会」(仮題)

報告者 西城戸誠(早稲田大学)、嶋崎尚子(早稲田大学)

7月19日（土）開催の第1回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1. 会場にご参加のみなさま

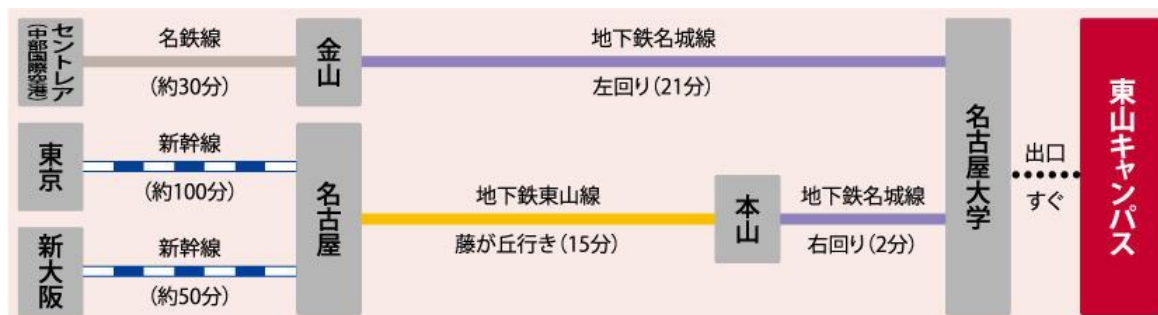
会場の場所をお知らせします。名古屋駅からお越しの場合は、まず地下鉄東山線に乗りいただき、本山駅で名城線にお乗り換え下さい。次の駅が名古屋大学です。

会場：名古屋大学文系総合館 308/309教室

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町

アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学駅」より徒歩約5分

会場の文系総合館は、地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口から西方面に3分直進、左手の奥まった場所にあります。この建物の3階が会場です。なお、大学構内のコンビニは営業しています。キャンパス周辺にも飲食店が数軒あります。



2. オンラインでの参加のみなさま

<事前の準備のお願い>

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

<当日のお願い>

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

<配布資料について>

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

<質問・発言について>

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。
 - ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
 - ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
 - ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

<Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

<当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp [アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

<問い合わせ先>

- ◆ 当日の Zoom 操作に関する以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp) までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

1. 理事会からの報告

(1) 2024年度第5回理事会報告

2024年度地域社会学会第5回理事会は、2025年5月11日（日）の11時～13時までオンラインで行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、武田俊輔、辻岳史、野坂真、平井太郎、藤井和佐、前島訓子、町村敬志、三浦倫平、室井研二、望月美希、矢部拓也、山口博史、渡邊隼

理事会では報告事項10件、審議事項7件が議論されました。

(2) 2024年度第6回理事会（臨時）報告

2024年度地域社会学会第6回理事会（臨時）は、2025年5月17日（土）の11時40分～12時10分まで東京経済大学で行われました。出席者は以下のとおりです（敬称略）。

齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、辻岳史、二階堂裕子、平井太郎、藤井和佐、三浦倫平、室井研二、望月美希、矢部拓也、松宮朝、渡邊隼

理事会では財務担当理事から2024年度決算報告ならびに2025年度予算案が提案され、一部修正のうえ承認されました。

(3) 総会報告

2025年5月17日（土）17時45分～19時まで東京経済大学にて、地域社会学会総会が開催されました。総会では中澤秀雄会員が座長として選出され、会長挨拶、研究委員会報告、編集委員会報告、国際交流委員会報告、地域社会学会賞選考委員会報告、50周年事業報告、事務局報告が行われました。続いて、2024年度会計決算についての説明が事務局からあり、監事による監査報告が行われました。2025年度予算案についても同様に説明が行われ、決算、予算案ともに原案通り承認されました。

なお、理事会で承認されていた研究委員会報告「研究例会の回数を現行の年4回開催から3回に変更する」について、総会にて議論となったため協議事項となり、結果として今回は見送ることになりました。

（齊藤麻人）

2. 研究委員会からの報告

5月17日～18日に東京経済大学にて地域社会学会第50回大会が開催されました。6部会、23本の自由報告に加え、今年度は50周年記念行事として若手会員による共同調査の成果報告会が開催されました。「環境変動適応と地域社会」をテーマとしたシンポジウムも熱気に満ちたものとなり、盛会のうち終わることができました。

大会後、6月7日に今年度第1回目の研究委員会をオンラインにて開催し、大会運営やシンポジウムの反省、ジャーナル編集業務の改善、今後の若手研究会や研究例会について検討しました。今年度も引き続き「環境変動適応と地域社会」をテーマに、今度は学会員の報告をメインに研究例会を組み立て、研究活動の進展に尽力する所存です。研究例会の日時、会場も決定しましたのでお知らせします。以下の通りです。宜しくご予定下さい。

7月19日（土）名古屋大学

10月11日（土）立教大学

12月14日（日）ノートルダム清心女子大学

2月8日（日）東京大学

今年度の第1回研究例会は7月19日（土）に名古屋大学にてハイブリッドで開催します。前半は、研究委員が大会シンポジウムの振り返りを趣旨とした報告を行います。報告者は、当日の司会を務めた室井と討論者を務めた望月美希会員、阪口毅会員です。後半は、地域社会学会賞受賞著作の紹介です。嶋崎尚子会員、西城戸誠会員に『芦別—炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史』と地域社会

学の関係について報告頂きます 多くの皆さまの来場、参加をお待ちしています。

(室井 研二)

3. 編集委員会からの報告

年報第 38 集 (2026年5月発行予定) の原稿を募集します。下記の要領にしたがって募集しますので、積極的な投稿をお願いします。自由投稿論文については、他のカテゴリーの原稿に比べて締め切りが早くなっています。〈ビューポイント〉〈名著再発見〉〈研究紹介〉のコーナーについても、投稿をお待ちしています。なお、電子ファイルでのみの提出になります (郵送での提出は不要です)。投稿規定・執筆要領・著作権規定をご確認のうえ、ご提出してください。

<年報第 38集原稿募集要領>

1. 自由投稿論文: タイトル・執筆者氏名・本文・図表・注・引用文献を含めて、年報掲載時に 14 ページ以内(1 ページは 41 字×38 行で 1,558 字)に収まるものとします。編集上必要なデッドスペースを差し引いて、上限字数は 21,402 字(41字×522行)である。図表等については編集上十分なスペースを確保してください。なお英文要旨は掲載決定後に、300 語以内で作成します。自由投稿論文の締め切りは、2025年9月30日(火)必着です。

2. 書評 (依頼) / 自著・自訳書・編著書紹介 (依頼) / 研究紹介: タイトル・執筆者氏名・本文を含めて、年報掲載時に 2 ページ以内となる 2,870 字(41字×70行)に収まるものとします。

3. ビューポイント/名著再発見: タイトル・執筆者氏名・本文を含めて、年報掲載時に 4 ページ以内となる 5,986 字(41字×146行)に収まるものとします。 2 及び 3 の原稿の締め切りは、2025 年10月末日とします。

4. 原稿は、Eメールの添付ファイルにて電子ファイルでご提出下さい。原稿提出時には、別紙に氏名・住所・電話番号・電子メールアドレスを明記して下さい。

5. 「執筆要領」で明文規定している以外のルールは『社会学評論スタイルガイド』に準拠することになります。この点、くれぐれもご注意ください。

6. また、自由投稿論文については300語程度の英文要旨を掲載することになります。英文要旨は、編集委員会で論文審査が終了した後に提出して頂きます。英文校閲は編集委員会でおこなう予定です。

7. 原稿の提出先 Email: matumiya[at]ews.aichi-pu.ac.jp ←[at]を@に変えて下さい。

(松宮 朝)

4. 地域社会学会賞選考委員会からの報告

2025 年度の学会賞の選考が始まります。

(1) 地域社会学会賞には、以下の 5 種類の賞があります。

1. 学会賞

①個人著作部門、②共同研究部門

2. 奨励賞 [大学院修士課程修了 15 年以内の者を対象]

③個人著作部門、④共同研究部門、⑤論文部門

(2) 対象業績は、2024 年 6 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までに刊行された業績です。

(3) 推薦期間は、2025 年 8 月 1 日(金)から 9 月 30 日(火)の間です。

(4) 推薦委員による推薦のほか、会員の自薦・他薦もあります。選考委員長の新原道信宛てに 2025 年 9 月 30 日(火)必着でお願いします。自薦の場合は、刊行物 1 点も送付してください。

(5) 送付先 E-mail: nihara [アット]tamacc.chuo-u.ac.jp ([アット]を@にしてください。)

郵送: 〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 中央大学文学部3号館3804新原道信宛

(TEL:042-674-3804)

(6) 推薦にあたっては、学会賞規定に沿った基準で選んでいただき、以下を記してください。①学会賞、奨励賞の区別、②対象研究成果の題目、発行年月日、発行所あるいは掲載雑誌名・巻号、③著者・编者・編著者の氏名、所属、職位・学年次、奨励賞の場合は修士課程修了の有無と修了年月(詳細不明の場合は事務局で調査します)、④推薦者氏名、⑤推薦理由(300 字以内)。 Mail

の場合は、word ファイルでお願いします。

(7) 2025 年度の選考委員(8名)は、新原道信(重任)、中西典子(重任)、丹邊宣彦(重任)、吉野英岐(重任)、小浜ふみ子(新任)、清水亮(新任)、清水洋行(新任)、文貞實(新任)。委員長は新原が務めております。推薦委員(8名)は、任期中(2年間)は非公開で、任期の終了後に「会報」で公開しています。

(新原 道信)

5. 50周年事業委員会からの報告

「若手会員の地域調査・研究ワークショップ」

およそ2年間行ってきた若手ワークショップの研究経過報告(タイトル:大企業と都市・地域の関係とその変化ー茨城県日立市と兵庫県淡路市を事例として)を、50周年記念大会にてさせていただきました。多くのご参加をいただきましてありがとうございました。2025年度は学会の若手ワークショップとしては、最終年度の取り組みとなり、これまでの研究の報告書を作成していきます。引き続きよろしくをお願いします。

(小山弘美、佐藤洋子、前島訓子)

6. 地域社会学会第50回大会会計報告(東京経済大学)

●収入の部

費目	単価 (円)	数量	金額 (円)	備考
大会参加費(一般)	2,000	97	194,000	
大会参加費(院生)	1,000	22	22,000	
懇親会費(一般)	5,000	54	270,000	
懇親会費(院生)	2,500	17	42,500	
弁当費	1,000	5	5,000	
大会補助(学会から)	300,000	1	300,000	
開催援助寄付金(学内から)	15,000	1	15,000	
計			848,500	

●支出の部

費目	単価 (円)	数量	金額 (円)	備考
施設使用料			0	免除
学生謝金	1,200	186.5	223,800	15.5h×11名、8.5h×1名、7.5h×1名
懇親会費	336,768	1	336,768	懇親会費322,000、飲料代14,768
飲料費	804	1	804	会員控室用ペットボトル2
弁当費	30,400	1	30,400	弁当1,000×28、お茶160×15
消耗品費	346	1	346	封筒
	531	1	531	マルチラベル(名刺サイズ)
	198	1	198	ラベルシール(物品移動用)
振込手数料	330	1	330	
学会会計に返金			255,323	
計			848,500	

7. 地域社会学会 2024 年度決算報告ならびに 2025 年度予算

2025年度 地域社会学会予算案（2025年5月1日～2026年4月30日）

経常会計

	項目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算案	
	1 前年度繰越金	7,169,504	7,855,416	7,811,187	注1
	2 会費収入	2,417,000	1,302,500	1,951,200	
	3 大会会計繰越金	0	264,073	0	
	4 雑収入	0	434	0	
収入合計		9,586,504	9,422,423	9,762,387	
1 研究活動費		230,000	177,972	230,000	
	(会場費)	40,000	0	40,000	
	(事務・通信費)	10,000	23,562	10,000	
	(謝礼・交通費)	180,000	154,410	180,000	
2 委員会・ 理事会費		360,000	0	360,000	
	(会場費)	10,000	0	10,000	
	(事務・通信費)	40,000	0	40,000	
	(交通費)	250,000	0	250,000	
	(人件費)	60,000	0	60,000	
3 事務局費		1,046,000	526,264	1,146,000	
	(人件費)	50,000	0	50,000	注2
	(通信費)	280,000	110,110	380,000	
	(SmooSy利用料)	396,000	396,000	396,000	
	(消耗品)	60,000	0	60,000	
	(交通費)	240,000	0	240,000	
	(学会会議関係)	10,000	20,154	10,000	
	(会議費)	10,000	0	10,000	
4 会報発行費		20,000	0	20,000	
	(印刷費)	10,000	0	10,000	
	(発送費)	10,000	0	10,000	
5 年報費		1,080,000	855,400	1,080,000	
	(買い上げ分)	900,000	855,400	900,000	
	(年報発送費)	180,000	0	180,000	
6 大会補助費		400,000	51,600	700,000	注3
	(大会補助金)	200,000	0	400,000	
	(大会特別補助)	100,000	0	200,000	
	(大会時託児補助)	100,000	51,600	100,000	
7 名簿発行費		0	0	0	
	(調査費)	0	0	0	
	(印刷費)	0	0	0	
8 特別事業費		86,750	0	0	
	(50周年記念)	0	0	0	
	(若手支援等)	0	0	0	
	(I S A 関連)	0	0	0	
9 将来計画 基金		0	0	0	
	(基金積立金)	0	0	0	
10 予備費		6,363,754	0	6,042,402	
	(予備費)	6,363,754	0	6,042,402	
支出合計		9,586,504	1,611,236	9,762,387	
	残高		7,811,187		
	次期繰越金		7,811,187		

注1 2025年度会費収入は2025年度中に納入される事が予想される金額。2025年4月末時点での一般会員346名、院生会員38名への会費請求総額2,439,000円（2024年度以前の過年度未払い分を含む）のうち80%が納入されるとの想定。

注2 Smoosy利用料（月33,000円）が1年間ごとの一括払いであるため、2024年度の利用料の一部を併せて反映。

注3 2024年度分の振込日が2025年度の会計年度となったため、2025年度分に計上。

8. 事務局からの報告とお願い

（1）会費納入状況

2025年7月5日時点の会員は405名（一般345名、院生38名、終身22名）で、2024年度の会費納入率は89%（会費納入対象者364人中324人が納入済）でした。2024年度までの4年以上滞納者は5名おり、会員資格喪失について審議事項となります。そのほか、3年滞納者は8名、2年未納者は7名です。

（2）会報244、245号・ジャーナルNo.19、20の発行

庶務担当理事から学会HP上で会報243号、244号とジャーナルNo.19、20の発行が報告されました。

（3）会費納入のお願い

2024年度の会費納入ですが、財務担当理事からの督促を強化した結果、例年とほぼ同じ納付率を達成することができました。ご協力に感謝いたします。2025年度会費につきましては、7月1日付で納付のご案内を發出しています。**引き続き会費納入にご協力をお願いします。**

（4）会員の研究成果情報の提供のお願い

2024年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会WEBサイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしく申し上げます。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

（齊藤麻人）

9. 会員異動

<新入会員>

謝卓然（名古屋大学大学院）：地域共生社会、市民活動

直井友樹（横浜国立大学大学院）：ボランティア活動、ワークキャンプ、限界集落

高橋明子（亜細亜大学）：情報社会学、地域情報化

米川安寿（ひょうご震災記念21世紀研究機構）：内発的発展論、民際学、国際協力、防災

高橋聖哉（名古屋大学大学院）：

鈴木颯太（東京都立大学大学院）：町内会・自治会、浜松市、世田谷区

山田龍之介（上智大学大学院）：

熊谷寿二（放送大学大学院）：都市社会学 アーバニズム

小谷和彦（自治医科大学）：

木下征彦（日本大学）：文化財の保存・活用、世界遺産、コミュニティアニズム、野良猫問題

渡邊武瑠（横浜国立大学大学院）：地方創生に携わる「越境学習者」、大分県竹田市

崔誠文（横浜国立大学大学院）：都市コモンズ、居住の権利、社会運動、スクワット

（以上、2025年5月11日理事会で承認）

10. 会員の研究成果情報(2023～2024年度)

2025年度 [著作]

能勢桂介『消えた日系ブラジル人と多文化共生 日本衰退の転回点：リーマンショック』悠人書院

2025 年 4 月

11. 理事会のご案内

第 1 回理事会

日時 7 月 19 日（土）午前 10 時 30 分～

場所 名古屋大学東山キャンパス文系総合館 308/309 教室